



平成 30 年 3 月 15 日

保護者・地域の皆様には、今年度も学校評価アンケートに御協力いただきありがとうございました。そのアンケートの集計結果を受けて、2月20日に本校で学校関係者評価委員会を開きました。学校関係者評価委員の方々にお集まりいただき、集計結果についての御意見や、目標の達成状況・今後の改善方策が適切かどうか御提言をいただきました。そして、再度校内で学校評価委員会を開き、今年度の最終評価を検討しました。今回はその結果をお知らせいたします。

本校ホームページ（<http://yawatahama-th.esnet.ed.jp/>）でも公開しておりますので御覧ください。

学校関係者評価報告書

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学校経営 生徒がたよりを読んでいる (65%) の原因を考察する必要がある。アンケート項目「各種たよりを読んでいますか」の文言だと、すべて読んでいるか、いないかという質問だと生徒が受け取るのではないか。 PTA総会出席率が良くなっている点は評価される。ほかの学校と比較してみてもどうか。 読書の推進は今後も重要課題。</p> <p>(2) 学習指導 基礎学力の向上は、今後の指導・工夫が必要。資格検定取得への取組に対しても積極的に啓蒙が必要。相互授業研修・授業力の向上に今後も努めてほしい。アクティブラーニングへの取組を研究してほしい。 保護者へのアンケート項目「子どもにわかりやすい授業が行われているか？」は答えにくいのでは。</p> <p>(3) 工業教育 高く評価できる。キャリア教育にいっそう取り組んで欲しい。継続して指導することで生徒の意欲を引き出すとよい。 WROの連続出場はすばらしい。資格取得については合格率生徒へのプレッシャーにならないように留意してほしい。</p> <p>(4) 特別活動 ボランティア活動の参加人数が95人→129人と増加している。保護者や地域住民の評価も高い。今後も生徒の意欲を高めていってほしい。 部活動は、加入実績100%や達成状況から評価が高くて良いのではないかと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 担当が各種たよりの配布時に内容にふれ、話題にする。 アンケート項目の文言を検討する。 ・ 他校との出席率の比較だけでなく、多数出席していただく方法などを聞くことは意義があるので、検討する。 ・ 図書の貸し出し冊数は年々増えているが、さらに増やしていくために、読書に関する活動を新たに考えていきたい。 ・ 基礎学力の向上に継続的に取り組むとともに、相互授業研修を通して、個々の授業の改善につなげ、教育活動全体を改善するとともに、アクティブラーニングの推進を図りたい。 ・ アンケート項目については分かりやすいよう改善を図りたい。 ・ 1年次に検定・資格を積極的に受験させる。2・3年次には難易度の高い資格を取得するよう奨励する。 ・ インターンシップや企業見学、各種講演会、マッチングフェア等の実施により、勤労観を育み地元就職する生徒を増やしたい。 ・ 各種大会やコンテストに参加し、上位入賞を目指す。出前授業や各種イベントに積極的に参加し、本校の取組を知っていただけるよう情報発信していく。 ・ ボランティア活動は家庭クラブでの活動などを含め、例年地域の方々からは高い評価を得ている。今年は、えひめ国体・えひめ大会の地元開催で補助員やスタッフ、観戦・応援等何らかの形で参加し協力することができたので、次年度の自発的なボランティア活動の継続を期待したい。 ・ 部活動については、生徒保護者ともに願う学業との両立と各部活動の目標に対する達成度を注視していきたい。

<p>(5) 生徒指導 問題行動発生率0%であり、評価Aでもよいのではないか。「努力指標」と「成果指標」は違う。目標達成に至らなくても、その努力により改善されたことがあれば、評価してもよいのでは。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 現在のところ大きな問題行動は報告されていないが、近年は様々な問題が見えにくい状況であり、より一層の注意が必要である。また、交通マナーや携帯電話等のルールに関する指導は増えており、規範意識が十分醸成できているか心配される生徒もいる。今後も粘り強く指導を続けることが必要である。
<p>(6) 人権教育 「いじめられる生徒、いじめられる生徒」の数値が減少しており、評価できる。「悩みを先生に相談しやすいか」の低率は先生方の多忙化が原因だろうか。小・中ともに同様の傾向である。教師が把握できる範囲は一部であるということをも十分認識し、指導に取り組んでほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 年度当初に、生徒への声かけを多くするよう全教職員に呼びかける。 いじめにつながるおそれのある事案については、アンケートにかかわらず、人権・教育相談課に報告してもらい、全教職員で情報を共有し、いじめ防止に努力する。
<p>(7) 進路指導 就職希望者全員内定は評価できる。地域で開催される企業説明会等を通して職業観、勤労観を育む方針は適切である。基礎学力不足の対策で、日々の学習活動の重要性を理解させることは、難しいが重要なことだ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今後とも企業説明会には積極的に参加させることにより、多くの企業を知った中で自分に合った企業を選択できるように指導していきたい。基礎学力については日々の授業の積み重ねと計画的な補習により一次の合格率向上につなげていきたい。
<p>(8) 学校保健 「保健だより」の掲載内容は充実しており、評価できる。保護者との連携が機能するには、まず家庭での親子の対話がなければならぬので、その点にも留意する必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き基本的な生活習慣の確立を目指し、継続した指導を行っていきたい。「保健だより」の内容を充実させ、保護者との連携も図りたい。
<p>(9) 学校安全 予告なしの訓練も含めて防災訓練の回数は評価できる。生徒が避難経路を承知していないことは問題であり、この数値を高める必要がある。小・中・高の段階に応じた指導が必要。高校生には地域の一人として何ができるかを考えてもらいたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 避難経路は分かっているので、アンケート項目の文言を検討する。身の安全を守ることが第一であるが、更に高校生として地域に貢献できることを考えていかなければならない。
<p>(10) 学校行政 環境はよく整備されており、来客応対もよい。 今年度から電気使用量の項目を外したのはなぜか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> さらに環境整備、丁寧な接遇に努めたい。 数値目標を掲げ節電を呼びかけることは、地球温暖化対策としてCO2削減が求められているなか大切なことではあるが、過去5年間のなかで使用電力が最も多い年とと比較し約18,000kWh少ない状態が近年続いており節電する姿勢が定着したといえることから、今年度の数値目標から電気使用量の項目を外した。
<p>2 重点努力目標について 目標の達成に向けて、適切に取り組んだ成果が現れている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 高く評価していただいている。今後ともものづくりを通して人をつくり、地域や産業界から信頼される学校となるよう生徒と教職員が一丸となって、保護者や地域の協力を受けながら努力していきたい。
<p>3 説明・公表について 適切。部活動・ものづくりへの取組・バラ園・学校行事・皆勤者数など、多くの地域住民から支持され評価されている。総合的にはもう少し高い評価でもよいのでは。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学校運営全般について高い評価を得ていることをありがたく思う。現状をさらに良いものにしていく意識を教職員一同が持ち、より良い指導、よりよい学校を目指していきたい。
<p>4 学校運営全般について 部活動の充実ぶりはすばらしいものがあるが、指導教員の負担軽減など配慮して学校経営を行ってほしい。全教職員の真摯な思いをいつも感じる。工業生として誇りを持てる育成をお願いする。</p>	